



基本理念
私達は心の
こもった医療を
行い、地域に信頼
される病院とな
ることを目指し
ます。
独立行政法人
国立病院機構高知病院

編集●独立行政法人国立病院機構高知病院広報誌編集委員会／代表●先山正二／住所●高知市朝倉西町1丁目2番25号／電話 088-844-3111／FAX 088-843-6385

喜ばしいことと 癒しのひととき

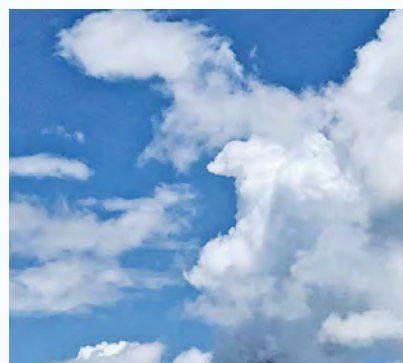


NHO 高知病院 院長
先山 正二

最近、当院にとっても大変喜ばしいことがありました。前看護部長の矢野いづみさんが永年の看護業務功勞にて瑞宝双光章を受勲受章されました。まずはご報告させていただきます。

さて、昨日（6月28日）、四国地方の梅雨明けが発表されました。今日、昼に院長室の窓からふと外に目をやると、そこには夏の到来を感じさせる青い空と程よい量と形の雲が広がっています。いつも見慣れた烏帽子山とその上の電波塔も見えています。今日は大きな手術もなく、特に気がかりなこともなく、いつになくゆったりした時間の流れの中にいるせいもあるのでしょうか。この原稿の締め切りは昨日でしたので、編集担当の職員係長に申し訳なく思いながら書いています。外のことが気になり、環境省の熱中症予防情報サイトをみると、幸い

高知県には熱中症警戒アラートは出ていません。ちなみに四国では徳島県と愛媛県に警戒アラートが発令されています。



あまり時間は経っていないのですが、低層の底にやや灰色を帯びた雲が増えてきています。雲全体はゆっくりと右から左に動いて行っています。その奥に上に向かってどんどん広がってゆく積乱雲が見えていましたが、そのうちに動きを止め、低層の雲に隠れてしまいました。注目していた一団の雲は右から左に移動する間に薄くなりました。視線を右にやると雲の量の違いはあれ、先と同じようなことが起こっています。

こんなにゆったりと空を眺めたのは久々です。ここが癒されるひとときでした。そろそろ、お昼休みも終わりですが、首尾よくこの原稿も完成です。一通り目を通して、締切日を過ぎたお詫びのメッセージをつけて職員係長に原稿をメールします。



春の叙勲を受けて

医療法人社団 重仁 まるがめ医療センター
看護部長 矢野 いづみ



令和4年、春の叙勲において、図らずしも瑞宝双光章の栄誉を賜りましたところ、皆様から暖かいお祝いのお言葉をいただき心より感謝しております。令和4年6月17日に最後の勤務地である国立病院機構高知病院で叙勲の伝達式が執り行われました。先山院長先生から伝達され感慨深いものがございました。伝達式の後、看護部長、副看護部長、附属看護学校の教務の方々から心温まるお祝い会をしていただき、中庭に記念植樹をいたしました。植樹は、樋口看護部長様が私のイメージカラーであると選んでいただいたブルーのガクアジサイです。これから毎年、6月のこの季節に楽しんでいただけたと思うとわくわくしています。

私は、昭和58年から日赤病院で2年、国立病院（国立病院機構を含む）で35年勤務してまいりました。昭和60年に国立療養所香川小児病院に採用され、国立病院機構高知病院で定年を迎えるまでに6施設の経験をしました。看護師の継続教育や看護の質向上、職場環境改善を考え取り組んできましたが、その中で、根底にあることは、「患者さんにとってどうだろう」ということでした。答えは、いつも正しかったとは限りませんが、その時に一番良いと思うことを実践することを心がけていました。

社会の変化に伴い、求められることも変わってきましたが、優しい心で患者様にかかわっていくことはどの時代も変わらないと感じています。

医療に携わることは、生半可な気持ちではできません。私は、看護師になりたいという思いもなく看護師になりました。看護に真摯に向かうよう変えてくれたのは看護師1年目に会った患者様のお母様でした。乳児突然死症候群で人工呼吸器装着の患児がいました。3人目のお子さんでお母様が付き添いをしていました。お母様は、看護師のことをよく見ていて、私に「看護師さん、あなたは、この子が3人目やからどうなっても仕方がないと思ってるやろう」と言われました。もちろん、そんなつもりはありませんでしたが、自分の中途半端なところが垣間見えお母様を傷つけていたのだらうと強く反省したことを覚えています。患者様には、その人を愛する家族がいて、かけがえのない人生を歩んでいるということを忘れることなく看護することの重要性を気づかされたように思いました。30年以上前の出来事です。心が深く刻まれています。

紆余曲折しながら37年間進んでまいりましたが、これまで続けられたのも今まで出会った同僚、先輩、上司、家族に恵まれていたことが大きいと感謝しております。退職後は、地元の病院で勤めていますが、これからも地域医療に貢献できるよう精進してまいりたいと思います。

院長先生はじめお世話になった皆様のご健康とご活躍を、また、高知病院のさらなる発展を心より願っています。



診療科紹介（外科）



外科医師
福山 充俊

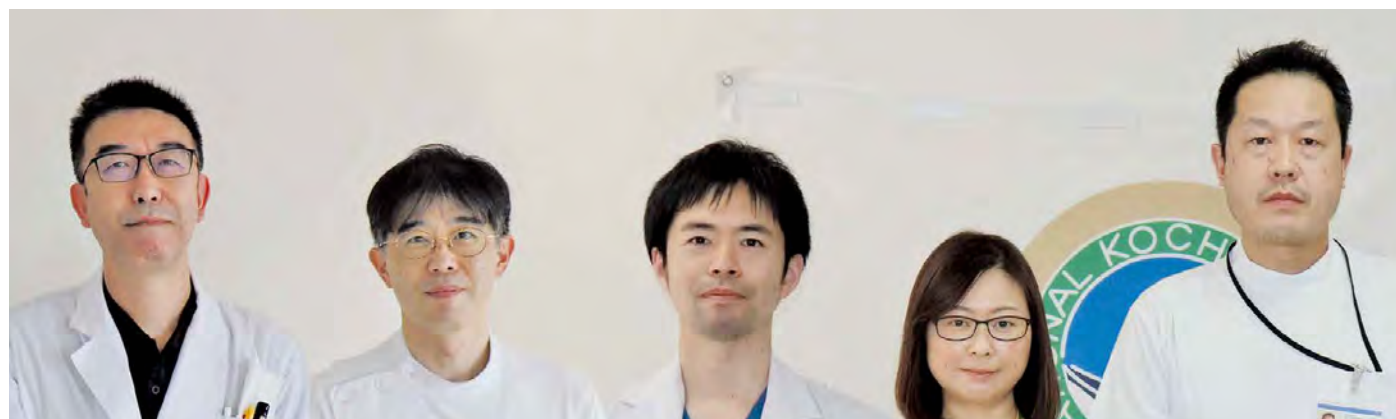
当院外科は、消化器外科を中心に、その他一般外科を対象に診療しています。消化器外科は、消化管（食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、肛門）および肝・胆・膵（肝臓、胆嚢、胆道、膵臓）の悪性疾患（消化器がん）と良性疾患（潰瘍、腹膜炎、胆石など）に対して手術を中心とした外科的治療を行っています。また一般外科としてそけいヘルニアや外傷など広く外科的治療を必要とする疾患を対象としています。また腹部救急にも力をいれており、急性虫垂炎や消化管穿孔、そけいヘルニア嵌頓など、救急疾患も昼夜を問わず積極的に受け入れています。

さらには、手術が困難な進行癌に対しては、最新の抗癌剤治療を取り入れています。入院して行うこともあります、外来通院による治療も多く行っています。また病状の進行に合わせた緩和医療にも積極的に取り組んでいます。

腹腔鏡による手術が一般的になっており多く行われています。特に大腸がんに対して内視鏡外科学

会の技術認定医が中心となり多く施行しており、良好な成績が得られています。胆石症やソケイヘルニアなどの良性疾患に対しても、腹腔鏡手術を行っています。肝胆膵の高難度手術においても積極的に行っています。

常勤医は5名で、外科専門医、指導医、消化器外科専門医、指導医を有しています。2021年度の消化器外科手術は326例でした。今まで以上に地域医療にさらに貢献できるよう頑張りますので、どうかよろしくお願いいたします。



看護師派遣について



看護師 新谷 文

6階南病棟で勤務している新谷文（にいや ふみ）と申します。コロナ禍の中、国立病院機構の職員として何か役に立てることはないかと考えていた時に看護師派遣の話があり、2月にコロナ中等症の患者さんの受け入れを行っている多摩北部医療センターで1ヶ月派遣看護師として活動して参りました。患者さん受け入れに対し病院全体、職種関係なく協力しあっていた事が印象的でした。コロナ専用病棟はなく、一般病棟を隔離病棟仕様にしたため各部屋に陰圧装置はなく、エアロゾルを防ぐビニールテントを使用していました。特に印象に残ったのは高流量の酸素が流れているテント内での看護業務でした。テントに入ると酸素機器からの吹き出すエアがずっと自分に降り注いでいる感じで、感染のリスクが高く、正しい防護服の着脱と手指消毒の徹底に努め「感染しないように!」と緊張の日々でした。

さらに2月は感染者の方々が増加した時期で昼夜問わず入院があり、認知症のある患者さんも多く、レッドゾーンから出てきてもすぐにナースコールが鳴り、息つく間もなくレッドゾーンへ戻るという事が日常でした。高齢の患者さんが多く急変対応も多かったのですが、コロナ病棟という特徴から対応までに

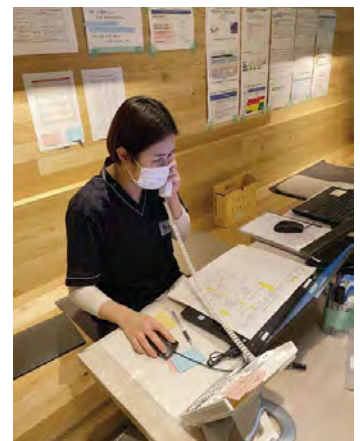
時間がかかる事へのジレンマ、ストレスを感じました。そのため急変を予測できる観察力が改めて必要だと再認識しました。

慣れない環境の中での業務は大変で精神的に落ち込む事もありましたが、同じ派遣看護師同士で励まし合ったり、受け入れ施設の職員の方々の気遣いで派遣期間を最後まで乗り切る事ができました。また、他施設での看護は施設・設備が違う中での業務であり大きな学びとなりました。医療従事者としての自覚を持つこと、観察力の向上に努めることで看護の専門職として日々、社会貢献に邁進していきたいと思います。



看護師 高木さくら

厚生労働省からの看護師派遣の要請を受け、4/1～4/30の期間、東京都のホテル療養施設で勤務してきました。派遣施設は医療強化型、妊婦支援型施設で、無症状者、軽症者、妊婦が入所しており、



中和抗体療法も行われていました。スタッフは東京都の職員、派遣事務員、NHOと東京都の派遣会社の派遣看護師で構成されていました。勤務形態は2交代制で、今回、私は夜勤専従でした。夜勤の主な業務内容は、入所者の健康観察、中和抗体療法決定の通知や治療後の観察でした。日勤からの申し送りを受けた後、タブレットの入力で受け持ち入所者のバイタルサイン、食事摂取量、症状などの情報収集を行い、必要な情報が不足している場合は電話で情報収集しアセスメントしたうえで必要に応じて医師への相談・報告を行いました。



入所者には3食の弁当が食事として提供されており、咽頭痛のある方や、悪阻のある妊婦、小児などは弁当の摂取が難しいため、食事摂取量や症状をもとに入所者と相談し、ゼリーやおかゆなど摂取しやすいものを差し入れとして渡していました。また、市販薬も準備されていたため必要に応じて差し入れを行っていました。基本的にはタブレットでの入力と電話での対応であるため、入所者との接触はありませんでしたが、タブレット入力と問診のみの対応での状態把握の難しさと、入所者の症状や治療に対する不安の表出に対する対応も多くあったため、精神的なケアも病院勤務と同様に必要な看護の1つであることを実感しました。

今回の看護師派遣は初めての経験であったため不安を感じている部分も多くありましたが、同じ勤務の看護師や職員と相談や情報共有、コミュニケーションをとりながら無事に1か月間の勤務を終えることができました。また病院以外での感染対策の実際

などを含め多くの学びもあり今後の看護に活かしていきたいと思います。



看護師 小島 岳生

この度、新型コロナ対応のため厚生労働省へ派遣看護師として勤務して参りました、小島岳生（おじまたかお）と申します。covid-19に集団感染した高齢者等を対象に施設が新設してから閉鎖するまでの期間を「逼迫する医療機関の機能の維持を支える」、「都民の入院加療の機会を確保する」、「社会の不安の軽減を図る」という目的のもとに全国から集まった100数名のスタッフと共に看護に努めました。入所された患者の身体的・精神的ケアを行い、無事に患者全員を退院へ繋げ、施設を閉鎖できたことは大きな達成感を得ることが出来ました。また、普段はそれぞれが異なる施設で勤務する者同士ですが、一つの目標に向かい困難を乗り越える力を実感するとても貴重な経験となりました。

高知県は特色として、高齢者が多いことや観光業で成り立っていることもあり、今後もGW明けのような感染流行が続いていき、“ウィズコロナ”が希求されていくことが予測されています。高知病院もcovid-19に対して取り組み、もう3年目になりますが、まだまだ気の抜けない生活が続いています。私も国立病院機構の一員、また、地域を支える医療従事者として感染予防の普及やまん延防止のための啓蒙に努め、派遣要請のある地域に赴き少しでも安心した生活が提供できるよう、引き続き頑張りたいと思います。

ホスピタルアートに のせた想い



看護師
土居内 瑠菜

私は令和4年4月から5階南病棟で勤務している新人看護師の土居内瑠菜と申します。病棟で先輩看護師の支援を受けながら看護技術やケア実践に臨んでいます。この3か月間、緊張することが多い中で、ホッと一息をつける時間がありました。それは、研修でホスピタルアートに触れた時でした。高知病院には1階北病棟の廊下と外来待合室フォトコーナーの2か所にてホスピタルアートの壁画を制作しています。アートディレクターの森合音先生をお迎えし、新人看護師が主体となり壁画の色作りや色塗りなどを行っています。また、他病棟や外来、手術室の看護師長、附属看護学校の教員や学生、家族の付き添いで来院されている一般の方など本当に多くの人々の協力の元、作品を作ることができています。ホスピタルアートの製作では、普段関わることの少ない方々ともコミュニケーションをとることができ、私にとってとても貴重な時間となっています。

ホスピタルアートは、仲間とコミュニケーションをとりながら役割分担、協力し制作しています。色の配置決め



や色作りなど試行錯誤しながら全員がホスピタルアート完成にむけ協力することは仲間意識を高め、達成感にもつながると感じています。また、ホスピタルアート製作を通して私自身安らぎを感じることや同期、多職種の方々とのコミュニケーションを通してこれからも頑張ろうと前



向きになることができています。さらに、この壁画はこの先ずっと残るため、壁画を見るたびに仲間と協力して製作したことや達成感を感じることができ私の中で大きな思い出にもなると考えます。

1階北病棟廊下の製作中ホスピタルアートは、1つの作品の中に木々や葉、魚などの絵がちりばめられており色は暖色系も寒色系も使用し、自然を感じることができます。また、天井にも壁画をしており立体的に楽しめるようにデザインされています。

外来待合室フォトコーナーの製作中ホスピタルアートは、1本の木を主体にたくさんの葉や花がちりばめられており、色もパステル系のみを使用し、とてもほっこりした雰囲気となっています。また、フォトコーナーの写真は四季折々の自然の写真がたくさんあり、フォトカードは患者様やご家族の方が自由に持ち帰りできるようにしています。



入院患者様は様々な不安や思いを抱えており気分が落ち込む事もあると思います。その中でホスピタルアートは患者様にとって癒しや安らぎを感じられる場になればと思っています。

また、昨今では新型コロナウイルスの影響で面会制限や外泊の制限によって入院患者様は家族と会っていない状況や外出ができないという制限された窮屈な状況が続いています。院内の壁画を通して患者様が少しでも安らぐことができればと思っています。さらに、

ホスピタルアートは患者様もご家族の方も見ることで、ホスピタルアートを通して患者様とご家族が感想を共有することや話をするきっかけができれば良いなと思っています。患者家族だけでなく当院で働く職員にもホスピタルアートを通して安らぎを感じてもらいたいと思っています。



特定行為研修修了



HCU
特定行為看護師
和田 紘幸

本年度より特定行為看護師として活動を開始しました、和田 紘幸（わだ ひろゆき）と申します。これまで、3階南病棟で7年間呼吸器外科や消化器外科を中心に看護に従事してまいりました。看護師の特定行為が推進され始めたのは、私がまだ学生の頃だったと記憶しております。その頃から高い実践力を持った看護師になることに憧れを持っておりました。特定行為を実施することで患者さんに日中のうちに受けられる処置は日中に受けてもらいたい、状態変化に関連して検査、治療、処置が必要な際にもう一步踏み込んだ介入ができることで患者のQOL 向上につながればという思いがあり特定行為研修の受講を決めました。

研修は近森病院で外科基本コースを受講させていただきました。e-learning での授業を受ける中で思い知ったのはこれまでの学習不足でした。なんとかテストをクリアし昨年 11 月より実習に参加することができました。実習先の近森病院では ER や ICU・HCU、また時には対象患者のいる一般病棟で実習を行いました。DKA/HHS（糖尿病性ケトアシドーシス / 高浸透圧高血糖症候群）や大量吐血・外傷・自宅で転倒され極度の脱水に横紋筋融解が合併している患者さんなど、普段みることのない症例に直面したことや毎週行われている AST（抗菌薬適正使用支援チーム）カンファレンスや形成外科のカンファレンスに同席させてもらえた事はとても良い経験となりました。

私が修了してきた特定行為は『創部ドレーンの抜去（胸腔・腹腔・心嚢・脳室ドレーンを除く創部に留置されているドレーン）』『直接動脈穿刺法による採血』『褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去』『脱水症状に対する輸液による補正』『硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整』『中心静脈カテーテルの抜去』『感染兆候がある者に対する薬剤の臨時投与』になります。

現在は HCU で勤務をしております。特定行為を実施するために指導医である福山外科系副診療部長、特定行為研修担当者である森山看護師、皮膚排泄ケア認定特定行為看護師の竹長副看護師長と共に手順書を作成しつつ実践に向けた活動に取り組んでおります。

当院は本年度より特定行為指定研修機関となりました。院内で仲間が増えると思うととても心強いです。まだ準備不足な面や至らないところがありますが日々精進して特定行為看護師として責任と役割を果たしていきたいと思います。

令和4年度 国立病院機構高知病院 看護師特定行為研修が 開講いたしました



看護師
森山 万智

当院は令和4年2月28日に厚生労働省より、看護師特定行為研修機関として指定を受けました（番号 2239003）。そして、この度、受講生2名を迎えて、7月1日に初年度の開講式が行われました。

看護師特定行為研修とは、「看護師が手順書により特定行為（診療の補助）を行う場合に、特に必要とされる実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技術の向上を図る」ことを目的とした研修です。当院では、呼吸器関連コースと、ドレーン関連コースからなる8区分の研修を行っています。9ヵ月の研修期間で、共通科目および特定行為区分別科目について講義（eラー

ニングの活用）を受け、演習、実習を行いスキルアップしていきます。これらの履修の成果に対して一定の評価を得て、修了を迎えることができます。特に働きながら受講できることを重視しています。

開講式では先山正二病院長が「当院で活躍する先駆けとなって、地域の患者さんにより質の高い医療の提供へと貢献いただけることを期待しています。」と、激励の言葉を贈られました。受講生2名は病院内でもベテランの看護師ですが、この研修を受講し、さらに高度な看護知識・技術を持つプロフェッショナルをめざします。



職員の異動

4月2日付～7月1日付の
人事異動（常勤）

退職

▶ R4.6.30
看護師

岡林加奈子



看護師になって2年目になりました！



看護師
川村 咲奈

昨年4月に5階北病棟に配属され今年で2年目となりました。臨床実習で病棟に来たことがあり、全く知らない環境ではなかったものの、思っていた以上に職場環境に慣れることが大変で一年があっという間でした。

5階北病棟は検査や内視鏡処置、治療、化学療法を受けられる患者さんが多く、基本的な観察項目と共にそれぞれの個別性に応じた看護が求められます。しかし、患者さんの状態の変化を捉えられず、看護が出来ていないと感じていました。知識がないことをはづかしいと思い先輩に質問できなかった私に「初めから完璧な人はいない。なんでも聞いてくれたらいいよ。私達も確認になるので一

緒に勉強していこう。」と言ってもらったときにすごく心が楽になり、聞くことに躊躇することがなくなりました。自分でも自己研鑽を重ね、患者さんの変化にも気づけるようになってきたと思います。

患者さんの立場になって寄り添うと、「あなたでよかった。」と笑顔で言われ、日々の丁寧な関わりの積み重ねが患者さんの個別性に応じた看護に繋がっていくとわかり、やりがいを感じています。

落ち込むこともありましたが、プリセプター、サポートナース、病棟の先輩方に支えていただきここまでやってことができました。まだまだ学ぶことはたくさんあり、勉強の毎日ですが、これからも患者さんに寄り添い、成長し続ける看護師でいられるように頑張りたいと思います。



看護師
橋本 芽依

1階中病棟へ配属され、2年目となりました。学生の時、コロナで重症心身障害児（者）病棟での実習ができず、配属が決まった時はとても不安でした。プリセプターナース、サポートナースをはじめ、先輩看護師に指導していただ

き、この1年で本当に成長することができました。

受け持ち患者さんに名前を覚えていただいたり、ケア後に「ありがとう。」や「受け持ち明日も橋本さんがいい。」と言って頂けた時はとても嬉しかったことを覚えています。また、患者さんだけではなく、先輩看護師からも、「橋本さんは切れがいいね。」や「仕事が早いね。」と言って頂くことができとても嬉しかったです。

日々看護していく中で、食事介助、コミュニケーション等、重心看護の難しさに悩む時があります。その都度患者さんと向き合い、それでも解決しない時は先輩看護師に相談し、患者さんの笑顔がみられた時はとても嬉しく、自分自身も笑顔になります。

同じ病棟に同期がおらず本当に不安でしたが、患者さん、プリセプターナース、サポートナース、先輩看護師に支えていただき、成長することができたと感じています。まだまだ看護師として知識、技術ともに未熟ではありますが、初心を忘れず、日々精進していきたいです。患者さん、そのご家族からも信頼される看護師を目指し頑張ります。

Go to ピクニック 2022



療育指導室 児童指導員
栗山 百合恵

重症心身障害病棟では春、夏、秋、冬の季節ごとにイベント行事を催しています。長期療養中の利用者さんが季節の移り変わりが少しでも感じられるよう療育指導室及び病棟スタッフ一丸となって取り組んでいます。

今年度最初の行事「Go to ピクニック」を4月～6月上旬の約2ヵ月、開催しました。新型コロナウイルス感染症対策に配慮し、1日の参加者を少人数で長期間実施することで多くの利用者さんが楽しむことができるよう計画しました。

テーマはトレジャーハント！ イベント広場や遊歩道、雨天時には療育訓練室といった場所に隠れたミッションを探し、ワクワクドキドキしながらトレジャーハンターの職員と一緒に冒険をしていきました。

ミッションの中には幸せな鈴の音が鳴る鳥、季節

の花（桜やツツジ）を探す〇〇を探そう！コーナーやトレジャーハンターの職員と協力してミッションをクリアするジャンケン対決や海賊を倒せ！のコーナーなど様々なミッションに臨んでいきました。

各ミッションをクリアするとミッション達成の証 宝石シールをゲット！そして、トレジャーハントが終え先へ進むと…今年の干支のトラやライオン、ゾウ、キリン、シマウマたち動物が待ち構えるまるで草原のような所でキラキラ輝くお宝箱を発見！それぞれのお宝を手にとり、喜びいっぱいの笑顔で病棟に帰られていました。

感染症対策を考慮した活動内容や人数制限などこれまでとは違った行事のスタイルになりますが、利用者さんが楽しい雰囲気を味わい気分をリフレッシュすることができるようにしていきたいと思っています。



感染管理室だより

ヌバキソビッド[®]筋注
(ノババックス/武田薬品工業)について感染管理室 看護師
宗崎 梓

当院では、令和3年5月より新型コロナウイルスワクチンの住民接種を開始し、以降、現在まで継続してワクチン接種を実施しております。開始当初はファイザー社製新型コロナウイルスワクチン（コミナティ）の接種のみでしたが、その後高知県からの依頼を受け、不定期にアストラゼネカ社製、武田／モデルナ社製の新型コロナウイルスワクチンの接種も行ってきました。そしてこの6月から、ヌバキソビッドの接種も始まりました。

ヌバキソビッドはノババックス社が開発したワクチンを武田薬品工業株式会社により薬事承認申請されたもので、2022年4月19日に薬事承認されています。ヌバキソビッドの接種により組み換えスパイクタンパク質がヒトの細胞内に取り込まれると、スパイクタンパク質に対する中和抗体産生及び細胞性免疫応答が誘導されることで、新型コロナウイルスによる感染症の予防ができると考えられています。¹⁾

ヌバキソビッドの対象者は、18歳以上で新型コ

ロナウイルスワクチンを1度も接種されていない方と、3回目のワクチン接種をされていない方となっています。ヌバキソビッドは、他の新型コロナウイルスワクチンと違いワクチンの希釈が不要であるため、そのまま0.5mlずつ薬液をシリンジ充填しワクチン会場へ運搬します。シリンジ充填後の薬液は保存温度が2～25℃となるため保冷バッグで運び、接種まで遮光し冷所で保管しています。

このヌバキソビッドも他の新型コロナウイルスワクチンと同じように、1回目接種から3週間後に2回目接種を行う必要があります。また追加免疫として3回目接種を行う場合は、2回目接種から6ヵ月以上経過し接種可能となります。

新型コロナウイルスワクチンの接種が始まって1年が経ちました。梅雨が明けると、本格的な高知の夏がやってまいります。今年も接種会場の職員の皆様も大変かと思いますが、引き続きご協力をお願い致します。

参考文献

- 1) 厚生労働省ホームページ https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_takeda.html (令和4年6月30日閲覧)
- 2) 武田薬品工業株式会社「ヌバキソビッド[®]筋注適正ガイド」2022年5月作成

医療安全管理室だより

医療安全管理係長
濱口 かおり

医療安全への取り組み紹介

6月9日いよいよ5S がキックオフを迎えました。

今年度入職した方は「はて5S って何?」と思われる方もいるかもしれませんね。

5Sとは、職場の環境改善や維持のために用いられるスローガンで、おもに製造業やサービス業で利用されています。5Sは、各職場において徹底すべき5つの項目、「整理」、「整頓」、「清掃」、「清潔」、「躰（しつけ）」によって定義されています。そして、それらの5つの項目をローマ字で記述した際の頭文字が「S」であることが、5Sの名前の由来です。

5Sが誕生した背景には諸説ありますがその起源は、世界的な自動車メーカーとなったトヨタ自動車だという説がもっとも有力です。5Sは単なる美化活動や整理整頓ではありません。5Sの主な目的は、徹底して無駄をなくし、職場の課題解決を行っていくことにあります。5Sを導入することによって、作業が効率化され、生産性が向上します。また、徹底して活動を行うことで職場のモラル向上など意識改革にもつながります。

環境犯罪学の理論に「割れ窓理論」というものがあります。この割れ窓理論は「破れ窓理論」や「壊れ窓理論」「ブローケン・ウィンドウ理論」とも呼ばれています。この理論では、建物の窓が壊れていることを放置すると、誰も注意を払っていないという象徴になり、やがてほかの建物の窓もすべて壊されてしまうとされています。

つまり、「窓が割れている」という小さなことを放置すると、犯罪が起こりやすい環境をつくり、最終的には、凶悪犯罪

が多発するようになってしまうことを示唆しています。小さな犯罪でも徹底的に取り締まることで、犯罪が起きにくい環境をつくり、治安を保っていくということが、割れ窓理論の概要です。

職場環境もこれと

同じで、ゴミが落ちていることを放置してしまうと、誰も関心を払わなくなり、職場が荒れ、いずれ大きな事故につながってしまいます。またそこで働く社員の士気が下がることで、生産性も低下し、企業の業績へも悪影響を及ぼします。

そのため5Sを徹底して行い、職場や身の回りをきれいに維持することで、仕事に対する意識が改善されていきます。また、5S活動によってさまざまな改善を行うことで職員一人ひとりが何かできることはないかといった問題意識を持つようになるための主体性の向上も期待できます。

あの有名な夢の国のように、まずは自分のデスク回りを片付けしよう、と思う今日の頃です。皆さんはここぞという場所に焦点をあて、発表に向け取り組んでください。

昨年度の上位入賞された、栄養管理室、手術室、4南病棟の発表を共有フォルダ→2部署・病棟別→0病院全体共有フォルダ→020研修動画→医療安全の中に保存していますので、ぜひご覧ください。



割られた窓が放置される
↓
「誰も気にしていない…割ってもいいのかな?」
↓
窓を割ることへの罪悪感が薄れる
↓
その他の窓も割られるようになる
↓
「この場所には誰も関心がないようだ」
↓
軽犯罪の温床になる
↓
やがて重大な犯罪が起こる可能性が高くなる!

みんなマニュアル通りしてないもんね。
別にいいよね。

病院の場合は
重大なインシデントに
つながるかも!!

看護学校だより

新入生歓迎会



看護学校
今治 涼子

令和4年5月2日、1年生 36 名を迎える新入生歓迎会が、新型コロナウイルス感染症対策を考えたくえで行われました。新入生への歓迎の気持ちがどうしたら伝わるのだろうか?と実行委員で時間をかけて考えてきました。

当日は、天候にも恵まれ、計画していた企画をすべて実施することができました。学内では、1年間の学校生活の紹介や2・3年生から新入生へ向けて歓迎のメッセージ、学年対抗ゲームをオンラインで実施しました。その後、1・2・3年生の混合チームで針木の浄水場へウォーキングを実施。ウォーキング時には災害発生時の学校周辺の状況をハザードマップで確認しながら歩きました。入学して約1か月の1年生にとって、2・3年生と一緒に過ごす初めてのイベントということもあり、最初は少し緊張していた様子でしたが、初めて話した上級生とも打ち解けている様子でした。これから行われる様々な行事でも、学生全員で協力して行うことができるよう関係性を深め、支えたり支えられたりしながら学校生活を送ってほしいと思っています。



学校行事の実際を紹介

学年対抗ゲーム
お題をイラストに書いて、他学生が答えます。いかに特徴をとらえたイラストを描けるかが勝敗を分けました。



どこ、どこ?

綺麗な花が咲いてる



青空で、気持ちいいけど、ちょっと暑いかな?

高知病院附属看護学校のオープンスクール

開催日: 第1回 令和4年7月17日(日)
第2回 令和4年8月7日(日)

両日ともに時間は 9:00 ~ 12:30 です。
模擬授業や技術を体験できます。
在校生によるオンライン交流会で、受験対策や学校生活の様子を聞いてみませんか。
申し込みは学校のホームページで受け付けています。

アドレス: 521-kangaku@mail.hosp.go.jp
TEL: 088-828-4460

皆様のお越しをお待ちしております。



地域医療連携室だより



看護師長
森本 純子

今回は地域医療連携室の仕事についてご紹介させていただきます。地域医療連携室は、地域の医療機関や介護・福祉の方々と連携を図り、患者さんやご家族が安心して療養できるよう支援する役割があります。大きく分けて、「前方支援」と「後方支援」があります。

「前方支援」は地域の医療機関の先生方からの紹介患者さんを円滑に受入れできるよう調整することです。救急や入院等院内の調整が必要な患者さんは看護師が行い、受診や放射線撮影（MRI、CT、骨シンチ等）の予約業務は事務が行っています。

「後方支援」は患者さんの外来受診時（入院前）または入院早期から介入し、退院後も住み慣れた家

庭や施設などの療養の場で安心して生活が送れるよう、地域の医療機関や訪問看護ステーション、ケアマネージャー、福祉・介護施設などの方々と連携し支援をしています。この業務は看護師と医療ソーシャルワーカーが担当しています。

また、がん相談支援センターとしてがん相談担当の認定看護師が患者さんやご家族の支援をしています。

その他、地域の医療機関の方々との連携を強化するための情報発信の場として「高知病診連携フォーラム」、市民を対象とした「公開講座」をWebで開催しております。

看護師、医療ソーシャルワーカーの協力体制で対応しています。お気軽に相談にお越しください。

第177回 高知病診連携フォーラムのご案内（Web配信）

テーマ1：高齢者の不眠症対策における看護師の役割

●川崎医科大学付属病院／精神科認定看護師 中山 愛子 看護師

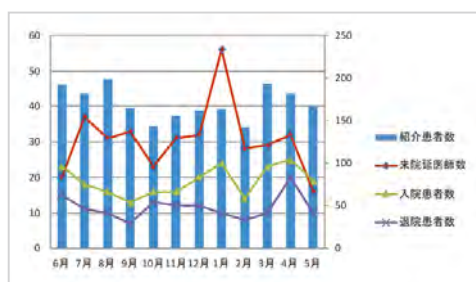
テーマ2：入院患者に対する不眠症治療

●川崎医科大学総合医療センター／心療科 和辻 健太 先生

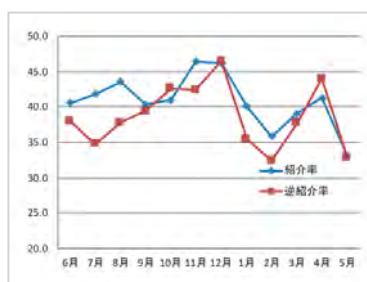
【日時：令和4年8月1日（月）18:30～19:30】

高知病院地域連携等概況

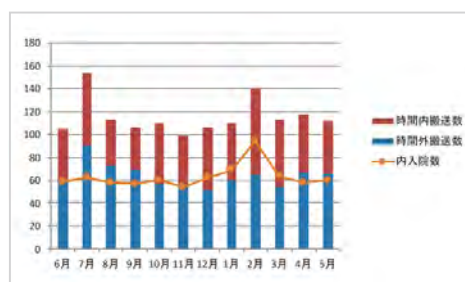
オープンシステム利用状況



紹介率・逆紹介率



救急搬送受診者数



外来診療担当医表

(令和4年7月1日現在)

■受付時間 8:00～11:00

■休診日 土曜・日曜・祝日・12月29日～1月3日



独立行政法人
国立病院機構 **高知病院**

〒780-8077 高知県高知市朝倉西町1丁目2番25号
TEL (088) 844-3111 FAX (088) 843-6385
<http://www.kochihp.com>



診 療 科	区分・診察室番号		月	火	水	木	金	
内 科	午前	1 診	⑫		小松 直樹	井上 修志	篠原・竹内(隔 週)	
		特別外来	⑪		岩原(血液)	松森(糖尿病)	岩原(内科)	
	午後	専門外来				化学物質過敏症(予約制)		
神 経 内 科			⑬	不定期(院内案内板に掲示しています。お電話にてお問い合わせ下さい。)				
呼 吸 器 内 科 アレルギー科	午前	1 診	⑧	岡野 義夫	竹内 栄治	畠山 暢生	竹内 栄治	門田 直樹
		2 診	⑥・⑫		國重 道大	市原 聖也	町田 久典	畠山 暢生
	午後	専門外来					禁 煙 外 来 14:00～15:30(予約制)	
消 化 器 内 科	午前		⑨	林 広茂	池田 敬洋	井上 修志	矢野 庄悟	池田 敬洋
循 環 器 内 科	午前		⑦	山崎 隆志	西村 直己	伊藤 いづみ (第2・4水曜)	山崎 隆志	古川 敦子
	午後		⑦			伊藤 いづみ (第2・4水曜) 受付16:00まで	ペースメーカー (第2木曜)	
リ ウ マ チ 科			⑩	松森 昭憲				松森 昭憲
小 児 科	午前	1 診	①	大石 尚文			小倉 英郎	大石 尚文
		2 診	②	佐藤 哲也	濱田 朋弥	佐藤 哲也		高橋 芳夫
		3 診	③	齊藤 晃士	澤井 孝典	小倉由紀子	齊藤 晃士	
	午後	専門外来 (予約制)		慢性疾患 アレルギー	神経・アレルギー	乳児健診	アレルギー	慢性疾患
				循環器(第2月曜 医大循環器)			NICU フォローアップ	乳児健診
		予防接種	14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)	
外 科 消化器外科 小 児 外 科	午前		⑤・⑥	東島 潤	福山 充俊 (クーポンがん検診)	山崎 誠司	江藤 祥平 (クーポンがん検診)	金本 真美 (肝臓・胆道・膵臓外来)
	午後	専門外来			福山 充俊 (乳腺外来)			
呼 吸 器 外 科	午前		⑧		先山 正二		先山 正二	先山 正二(予約制)
			⑦		日野 弘之 診察開始 9:30～		日野 弘之	
乳 腺 科	午前		⑤	本田 純子 (クーポンがん検診)		本田 純子 (クーポンがん検診)		
	午後		⑧			本田 純子 受付15:30まで(クーポンがん検診)		本田 純子 受付15:30まで(クーポンがん検診)
整 形 外 科	午前		①	福田 昇司(予約制)		善成 晴彦	福田 昇司	合田有一郎
			②	善成 晴彦				
	午後		②	骨粗鬆症 13:00～15:00(予約制)			田村 竜也 (予約制)	
脳 神 経 外 科	午前	1 診	⑧			非常勤 診察時間 9:00～11:00(予約制) 予約外の方はお問い合わせ下さい		
	午後		⑧					非常勤 受付16:00まで
皮 膚 科	午前		⑬	高橋 綾	大黒 督子	高橋 綾	大黒 督子	高橋 綾
泌 尿 器 科	午前	1 診	⑨	大河内 寿夫 診察開始 9:00～	葺石 陽亮 診察開始 9:00～	大河内 寿夫 診察開始 9:00～		大河内 寿夫 診察開始 9:00～
		2 診	⑦					葺石 陽亮 診察開始 10:00～
	午後				葺石 陽亮	大河内 寿夫		
産 科	午前		③⑤	滝川 稚也	滝川 稚也	青木 秀憲 1ヶ月検診	木下 宏実	甲斐 由佳
婦 人 科	午前		③①	木下 宏実 クーポンがん検診	甲斐 由佳 クーポンがん検診	木下 宏実 クーポンがん検診	滝川 稚也 クーポンがん検診	青木 秀憲 クーポンがん検診
		午後						思春期外来(予約制)
眼 科	午前		②③	戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子
耳 鼻 咽 喉 科	午前		⑬	中野・矢野	中野・矢野	中野・矢野	中野・矢野	中野・矢野
放 射 線 科				塩田 博文	塩田 博文	塩田 博文	塩田 博文	塩田 博文

※ 市町村発行のクーポン券を利用される乳がん検診は、平日 外科外来／乳腺科外来にて行っています。診察も希望される場合は事前に外来までお問い合わせください。

※ 当日の受付は午前11:00までとなっております。